

PRESS RELEASE

報道関係各位

平成 29 年 9 月 5 日
アライドテレシス株式会社
日本ラッド株式会社

**アライドテレシス、日本ラッドが提供するトラフィック可視化・監視システム
「NIRVANA-R」 と Secure Enterprise SDN ソリューションで連携**

アライドテレシス株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 大嶋章禎、以下アライドテレシス）と、日本ラッド株式会社（本社 東京都港区、代表取締役社長 須澤通雅、以下日本ラッド）は、アライドテレシスの SDN/アプリケーション連携ソリューション「Secure Enterprise SDN（以下 SES）」と、日本ラッドが提供するトラフィック可視化・監視システムである NIRVANA-R とを連携し、SES のネットワーク運用管理向上ソリューションを提供して行くことに合意しましたので発表致します。

NIRVANA-R は、国立研究開発法人情報通信研究機構（本部 東京都小金井市、理事長 徳田英幸、以下 NICT）がオリジナルを開発し、日本ラッドが技術移転を受けて独自展開している次世代ネットワーク可視化・監視システムです。日本ラッドは、任意の他社製セキュリティアプライアンス/サービス、ネットワーク機器等と連携しサイバー攻撃を可視化するソリューションとして販売しています。

NIRVANA-R は汎用性の高い Syslog 形式に対応しており、今回アライドテレシスの SES と連携することで統合的監視範囲は飛躍的に増大することになり、サイバー攻撃対策のための初動がより迅速にとれるようになります。

アライドテレシスの SES は、SDN 技術をエンタープライズ市場に適応させ、企業向けアプリケーションとネットワークを連携/連動させることにより、ネットワーク運用管理にかかる工数/コストの削減、及びセキュリティの強化を実現します。SES は既に IT 資産管理システム、ネットワーク脅威検知システムと連携しておりますが、この度 NIRVANA-R との連携により以下 2 つのソリューションを提供致します。

【ソリューション① 被疑端末の GUI 表示】

各社アプリケーション（次世代ファイアウォール/UTM、アプリケーションゲートウェイ、標的型攻撃対策アプライアンス、エンドポイントセキュリティ製品等）との SES 連携によって遮断・隔離制御された被疑端末を NIRVANA-R で可視化を行うことにより、セキュリティ管理者の直感的な運用管理を実現致します。

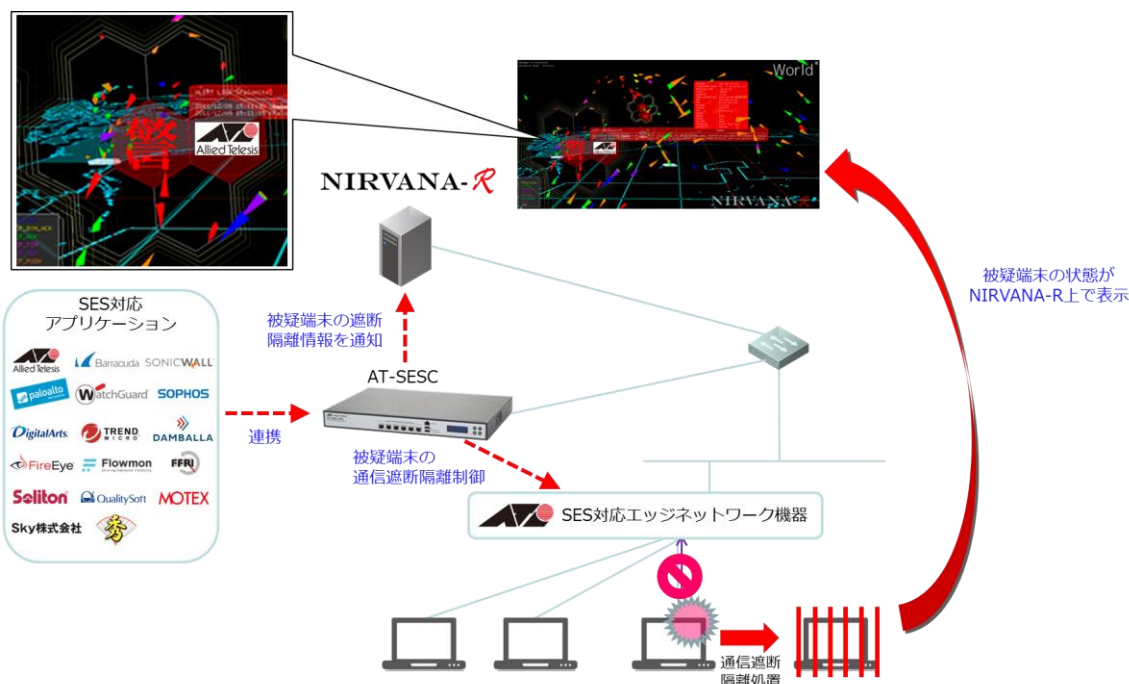


図 1 : SES から NIRVANA-R への通知連携構成概要

PRESS RELEASE

【ソリューション② 警告表示された被疑端末のマニュアル制御】

NIRVANA-R と他社製セキュリティアプライアンスとの連携にて脅威可視化の警告表示により、特定した被疑端末をマニュアル操作で通信遮断・VLAN 隔離制御を可能とする、セキュリティ管理者向けソリューションを実現致します。

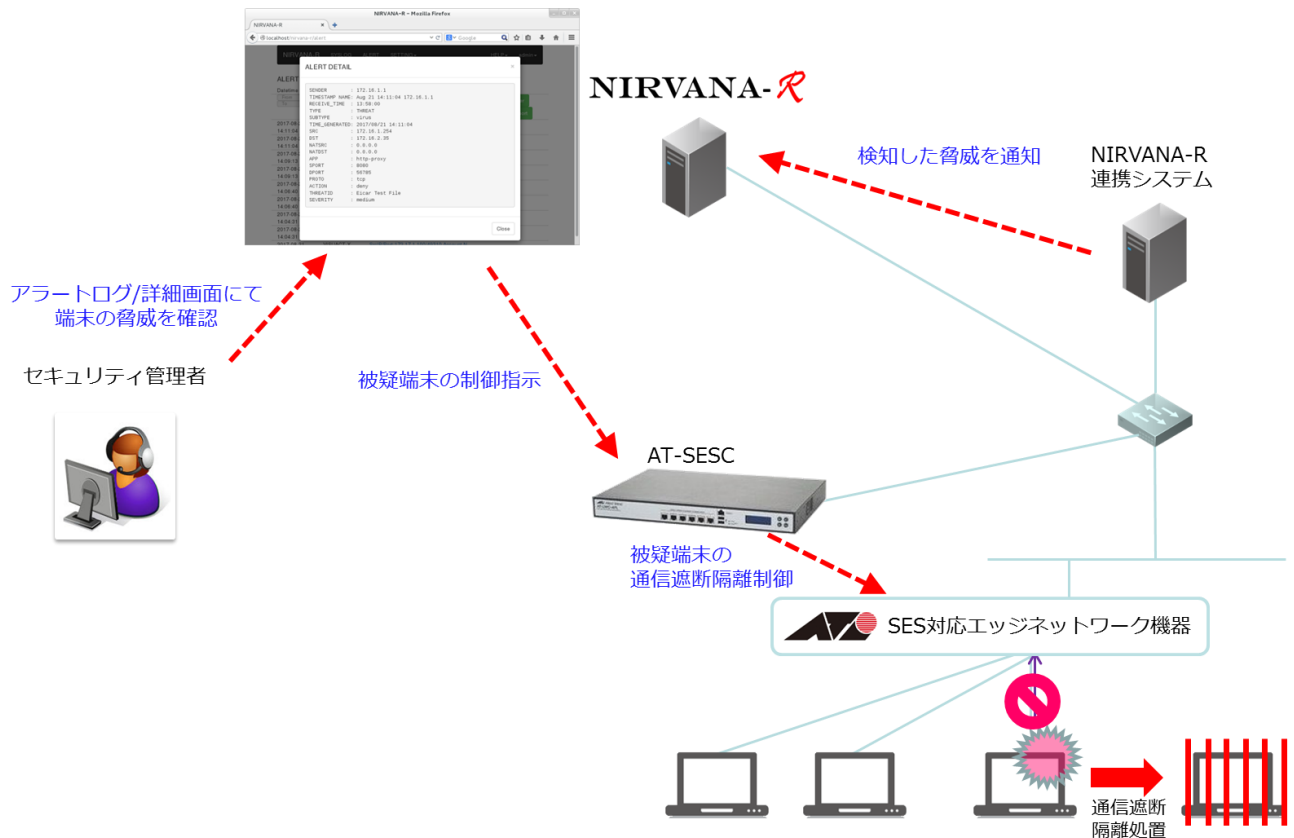


図 2 : NIRVANA-R を利用した SES のマニュアル制御連携構成概要

【アライドテレス株式会社について】

アライドテレスは、ネットワーク専門メーカーとして、企業、医療、自治体・文教などあらゆる分野において、先進のテクノロジーによる高信頼性を誇るネットワーク製品、ソリューション、IT サービスをご提供しています。

【日本ラッド株式会社について】

所在地：東京都港区虎ノ門 2 丁目 2-5 共同通信会館ビル 7F

代表取締役社長：須澤 通雅

JASDAQ 上場（コード番号 4736）

URL <http://www.nippon-rad.co.jp/>

ソフトウェアの受託開発、システムインテグレーションを主業務とする 1971 年創業の JASDAQ 上場企業です。革新的なコア技術によるソリューション提供、フルターンキーのシステム構築・運用サービスを展開しています。近年はテクノロジーカンパニーとして AI、IoT、セキュリティ等最先端の技術領域でのプロダクト・ソリューション開発を積極的に展開しつつ、ビッグデータ、クラウド、医療、動画解析等既存領域での更なる高付加価値サービスの開発に取り組んでいます。

【国立研究開発法人情報通信研究機構について】

所在地：東京都小金井市貫井北町 4 丁目 2-1

理事長：徳田 英幸

URL：<http://www.nict.go.jp/>

国立研究開発法人情報通信研究機構（National Institute of Information and Communications Technology、略称：NICT）は、ICT を専門とする唯一の公的研究機関です。情報通信分野の研究開発や産業支援等を総合的に行うことを目的とし、5 つの研究群に基づく 8 研究所・研究センター、2 カ所の電波送信所をもつ。日本標準時を決定し維持している。研究開発の成果である知的財産の民間企業への活用

PRESS RELEASE

を社会還元の一環として積極的に行っています。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

アライドテレスिस株式会社 マーケティングコミュニケーション部 田中利道

TEL : 03-5437-6042 FAX : 03-5437-6044 E-Mail : totanaka@allied-telesis.co.jp

- ・ニュースリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。
- ・ニュースリリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、プレスリリースにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。